

← 822
P F 62

詩壇時評

8月10日 長田恒雄
三十三行 二五二担

長田恒雄

現代詩をカニ芸術として絶望している人
たちもあつた。それは現代詩というものが対
する考え方の態度の如何からでてくる問題で

桑原武夫の『俳句カニ芸術論』からみよ
と根っこを知らなかつていふようにだ。詩には俳句
のよう取深い伝統は、日本にはない。俳句ほ
と日本そのものではない。もし俳句の言うよ
うに「日本語としての宿命を言い出さな
う、詩にのみならず日本語で書かれる文学、芸術
はすべて「俳句」でしかないといふなら、
絶望す。まゝに、日本語の革命を考へよう。そ
では無いのか。絶望するにやあうに口ホシ思
考でも容易にできることである。